

『お出かけ』

秋となり気候も良くなったので、恒例になりつつあるフラワーパークの散策へ出掛けました。まとまってお出かけするのは色々と困難なので、利用者さんお一人ずつのお出掛けとなりました。ゆっくりと時間をかけて園内を散策し、秋の景色やハロウィンの飾り付けなどを楽しみました。普段の散歩とは一味違う時間と空気を楽しみました。



『役割りと楽しみを』

なんだか怒りっぽくなった利用者さん。あまり家事などには参加せず、1人で居室で過ごすことが多いそうです。なるほどなるほど。お花を育てる事が好きと聞き、プランターにパンジーとイチゴを準備して、毎日のお世話をお願いしました。

最初はプランターの前まで行っては、職員に「あんたやって。」と言っていました。今ではプランターの様子を見に1人で外に出て行くようになりました。最近ではグチグチ言う事も少なくなり、笑顔で話されていることが多くなりました。



『手作りケーキ』

利用者さんの誕生日に合わせて誕生日会を行います。みんなでせっせと心を込めて(?)お祝いのケーキを作ります。なんか良いですね。



誕生日会のごちそうです

『気持ちに寄り添う対応を』

認知症ケアには、パーソンセンタードケアという考え方があります。はなえくぼの認知症ケアもこの考えの基に行われています。

認知症の人の心理的な5つのニーズ「自分らしさ」「結びつき」「共にあること」「たずさわること」「くつろぎ」を満たしてあげることが重点的に行います。5つも同時には大変!!と思うかもしれませんが、この5つのうちどれか1つを満たしてあげることができたら、連鎖的に他の4つも満たされていくので、身構えることはありません。無理なくやれることから取り組んでみましょう。

次に認知症の人と接する時に心掛けるポイントは

- 相手のペースに合わせて、まずは見守ること
急かされたり手出し口出しされるとイライラします
どっしり構えましょう
 - 間違いを指摘したり、間違いを怒らない
間違いを指摘するとプライドを守るために
言い訳や逆切れが始まります
間違いはサラッと受け流しましょう
 - 理解できる言葉で簡潔に話す
何を言われているか分からなくなり怒りだしたりします
噛み砕いて伝えて安心感を与えましょう
 - スキンシップを積極的に取り入れる
嫌がられない程度に、手を握ったり背中をさすったり
幸せホルモン「オキシトシン」の分泌を狙ってみよう
 - 独りにしない
独りになると不安を感じて徘徊、被害妄想を引き起こしたりします
温かい目で見守りましょう
- ☆効果が現れるまで数か月かかる場合もありますが、やれることから取り入れてみて損はないと思います。



はなえくぼ各ホームでは一緒に働く仲間を募集しています。和気あいあいの楽しいホームです。「仲間に入れるかしら?」「介護の仕事は初めてなんだけど」なんて心配はご無用です。まずは職場見学からお気軽にどうぞ。

ご見学随時受付いたしております。お気軽にお問い合わせください。

次回は、はなえくぼ扶桑便りです。どうぞお楽しみに!



グループホームはなえくぼ扶桑
丹羽郡扶桑町大字柏森字辻田398
(0587) 91-0110

グループホームはなえくぼひくみ
犬山市大字五郎丸字郷瀬川17番地1
(0568) 68-8096

グループホームはなえくぼ江南
江南市小杵町長者毛西132番地
(0587) 52-3808

はなえくぼのホームページ
www.gh-hanaekubo.com

ブログも時々更新しています